

あと一歩、夏の甲子園

野球部への支援に感謝

藤澤部長

二年ぶりの開会式に一九九校が参加する中、第九〇回全国高等学校野球選手権記念静岡大会が始まりました。北京オリンピックの影響で例年より早い七月五日の開会であり、初戦の二回戦はいきなり静岡商業高校との対戦となりました。月曜日の試合にもかかわらず大勢の方の応援を得て、六対三で勝利しました。三回戦は三島南高校に八対二、四回戦は磐田農業高校に十二対〇の五回コールド勝ちでした。準々決勝からはコールドゲームが適用されないこともあり、準々決勝は興誠高校に二〇対二、準決勝は飛龍高校に十八対一〇で勝利し、一日おいての決勝戦は二五日に行われました。結果は一対九で常葉菊川高校に敗れ

八月十五日から秋季中部地区大会(3位)、九月二〇日から静岡県大会、十月二五日から東海大会が行われます。「印高」の精神のもと、文武両道を目指して授業と部活動に全力で取り組む選手たちと来春の甲子園目指して努力する決意を述べるとともに、今年夏の大会のご報告と御礼を申し上げます。

(野球部長 藤澤徳芳)

高校野球の熱戦が連日続いていた日、以前、同期会の席上、中尾君が「甲子園出場が決まった静岡の応援バスで小学生のお孫さんを連れて行く」と、本当にう

66期の清水氏

れしように話されたのを思い出しました。(中尾修一氏)66期は昭和二十三年甲子園連続出場。当時森山秀夫投手とバッテリーを組む。御子息の中尾友彦氏

孫娘と一緒に夢舞台で応援

94期も野球部で活躍。いよいよ今度は甲子園で私ごとで恐縮ですが、私の孫娘が今年静岡に入学することができ、夏の高校野球の応援に行っております。私共は今、後期高齢者と準々決勝、準決勝に大勝やうらやましい二ユースばかりですが、長生きすれば、これが、日焼けした真赤な顔で母校の校歌を高らかに歌ううと久し振りに元気が湧いてくる出来事でした。

ユカちゃん頑張れ、おじ校歌ですが、あの美しいメロディーにこれ程感動を受けたことはありません。

(66期 清水仙一郎)

復活天覧記念野球の思い出

服部忠一氏(56期)

平成二〇年は対静岡定期野球試合五〇周年に当たると聞き、実は私は昭和一五年六月に行われた復活第一回天覧記念野球試合に代理主将捕手一番打者として出場しました。

昭和15年、一番打者で出場

応援生徒らゲートル姿

天覧試合は昭和五年五月二九日本校のグラウンドで行われ昭和九年まで天覧記念として続けられました。昭和一〇年から一四年まで何故か中断され昭和一五年に至り復活第一回天覧記念野球として行われることになりましたが本校には応援団も応援歌もないことから大騒ぎとなり先ず昼休み全校生徒を校庭に集め応援の練習から始めました。リール

裏の二死満塁の二度のチャンスを得点に結びつけられず応援の皆さんには何とも申し訳ない思いでした。

昭和三二(三年頃)からと思いますが毎年定期戦の時期に全くなかされていなかったのなると朝日、毎日、静岡、日刊スポーツ社等の各社から、生になる直前に主将であった

せれて私は即座に「試合に出れないからといって野球部を止め主将を止める必要は全くない私が代理を務める」と言ったからであり新聞により代理主将であったり主将代理だったりの質問だったよう

又復活第一回天覧記念試合にどんな気持ちで望んだかの質問には、「興亜の学生としての心意気をもって試合に臨みたい」多分諷刺先生に教った言葉だと思いがそのような話をした。この天覧記念試合は昭和一七年まで続いたが三連敗したことは静岡静高百年誌で知った。戦後天覧記念の文字がなくなり定期戦となったがこの復活第一回天覧記念試合の思い出は生涯忘れることはないだろう。

(56期 服部忠一(旧姓土屋))



勝利者魂



会員募集中！ご入会の方には、会報をお送りします。

年会費1口5千円です。郵便振替：00870-6-49256 「静岡野球部後援会」 後援会は、物心両面で野球部をサポートします。

静岡野球部後援会

会長：川村修 後援会ホームページ <http://www.yakyubu-koenkai.jp>
 事務局/〒422-8615 静岡市駿河区国吉田2-5-10 (株)シャンソン化粧品内 TEL054-261-8181 FAX054-261-8877

写真は昭和五年五月29日、静中で行われた「天覧試合」。以後、同6年から9年まで「天覧記念試合」として続けられたが中断し、同15年に復活した。

